

事例で考える

教職課程における多様な履修相談対応

小野 勝士(龍谷大学 社会学部教務課)

講師略歴

関西学院大学大学院法学研究科民刑事法学専攻博士課程前期課程修了。修士(法学)。平成13年度から龍谷大学に勤務し、教学部、経理課、文学部教務課、世界仏教文化研究センター事務部を経験し、令和2年から現職。大学教務実践研究会代表。関連する著書に『教職課程事務入門』シリーズの【1】～【4】(いずれもジダイ社)がある。

プログラム概要

ある日電話で「平成11年に卒業して、これから教員免許状を取得したいのですが、どのようにすればよいでしょうか?」とかかかってきたときどのように対応しますか?

このような卒業生等からの相談について、どの入学年度のカリキュラムを適用するのか等個別対応になる場合がほとんどだと思われます。

本プログラムでは、学生配付の学修の手引きでは対応できない事案について拠り所となる法令を紹介します。そして、学んだ知識の業務への活用方法について、ワーク(個人)を通じて体験することで教職課程の窓口対応力の向上を目指します。

(令和3年度も同テーマで実施しましたが、昨年度から今年度にかけての法令改正に合わせた内容にしております。)

※中高一種免許を事例に取り扱います。

1. 自己紹介(講師、参加者<チャットで>)
2. 事例(時折、個人でワークを行います)
3. 参考書籍・セミナーの紹介

準備物・事前課題

特になし。

主な受講対象者

中学または高等学校教諭免許状設置課程のある大学・短大において教職課程の履修相談を担当している教職員

到達目標

1. 法令を理解したうえで正確に不足単位の説明をすることができる。
2. 履修相談にあたって必要な情報が掲載されているウェブサイト等を提示することができる。
3. 想像力を働かせて履修相談に対応する姿勢を身につけることができる。

日時

8月26日(金)9時30分～11時30分